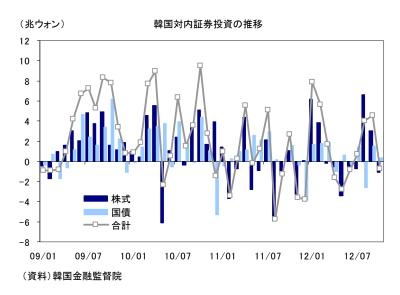
通貨ニュース(2012年11月8日)

10 月外国人投資家による韓国への証券投資について

10月の外国人投資家による韓国への証券投資は、株式投資が1.1兆ウォンの処分超、国債投資は0.4兆ウォンの取得超となり、合計で0.7兆ウォンの流出超となった。韓国国債への投資は底堅く推移しており、外貨準備の運用通貨に韓国ウォンを含めていることを公表しているスイス国立銀行(中央銀行、SNB)が投資を継続しているほか、ノルウェーの政府系ファンド(SWF)であるノルウェー政府年金基金がポートフォリオに韓国国債を組み入れた可能性がある。韓国は8月末以降に大手格付け会社が揃って格上げしており、ユーロ圏諸国を中心に先進国の格下げが相次ぐ中で韓国国債の魅力が増している。世界的な金利低下、先進国の格付け悪化といった市場環境下、相対的に高まる韓国国債への投資が資本フローを下支えしそうである。

~4か月ぶりの資金流出超~

今週は、韓国金融監督院より10 月の外国人投資家による韓国証券 投資が発表されている。10月の外 国人投資家による韓国株式への投 資額は1.1兆ウォンの処分超となり、 前月の3.1兆ウォンの取得超から3か 月ぶりに処分超に転じた。また、韓 国国債への投資は0.4兆ウォンと前 月の1.5兆ウォンから買い越し額は 縮小したものの、2か月連続の取得 超となり、株式と国債の合計では0.7 兆ウォンの流出超となった。10月は



国内外の企業決算の悪化や支援要請に二の足を踏むスペイン情勢が嫌気され、市場はリスク回避ムードが優勢だった。また、IMF(国際通貨基金)等の国際機関が発表した経済見通しが総じて下方修正されたことで、世界経済の先行き懸念が深まったことも市場のセンチメント圧迫に繋がり、新興国への資金流入は停滞した。

~高まる韓国国債の魅力~

韓国株式への投資を国別で見ると、英国が0.2兆ウォンの取得超と3か月連続で買い越したものの、8月の3.0兆ウォン、9月の1.2兆ウォンからは大幅に買い越し額が縮小した。一方で、米国が1.4兆ウォンの処分超と大幅に売り越す動きがみられた。韓国国債への投資を国別に見ると、チリ

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほコーポレート銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

が0.5兆ウォンの取得超と9月に続いて取得超となったほか、ノルウェーが0.3兆ウォンの取得超、スイスも0.3兆ウォンの取得超となり、それぞれ前月の0.2億ウォン、0.1兆ウォンから買い越し額が増加した。片や、タイは0.6兆ウォンの処分超と2010年夏場頃から始まった処分トレンドが続いているほか、中国も0.4兆ウォンの処分超と5か月ぶりの売り越しに転じた。

韓国国債への投資動向で目を 惹くのは、スイスとノルウェーの挙 動である。スイスの2012年10月末 における韓国国債保有高は4.4兆 ウォンと2011年末の2.0兆ウォンか ら2倍以上に膨らんでいる。また、 ノルウェーも2012年10月末時点で 3.5兆ウォンを保有しており、2011 年末の0.2兆ウォンから急増してい る。さらに、チリも2012年9月以降 に韓国国債への投資を開始した 模様であり、今後も投資を継続す るのか注目したい。スイス国立銀 行(中央銀行、SNB)は外貨準備

外国人投資家による韓国有価証券保有額

(単位・10億ウォン %)

国債	(単位:10億ウオン、%)				
■	2010年末	2011年末	2012年10月	変化率	シェア
米国	15,211	16,369	16,896	3.2	19.1
ルクセンブルク	11,655	12,971	14,261	9.9	16.1
中国	6,570	10,230	10,896	6.5	12.3
マレーシア	4,289	7,991	7,682	-3.9	8.7
タイ	14,873	9,761	6,193	-36.6	7.0
スイス	2,191	2,022	4,366	115.9	4.9
ノルウェー		190	3,473	1727.9	3.9
シンガポール	1,834	3,229	3,426	6.1	3.9
香港	2,099	2,559	2,639	3.1	3.0
英国	4,511	3,309	2,610	-21.1	2.9
カザフスタン		2,203	2,570	16.7	2.9
フランス	3,947	1,570	2,158	37.5	2.4
ドイツ	457	1,884	1,680	-10.8	1.9
ケイマン諸島	759	982	1,165	18.6	1.3
その他	5,797	7,757	8,659	11.6	9.8
合計	74,192	83,027	88,674	6.8	100.0
(注) 本儿 本は社会により					

(注)変化率は対前年末比。

(資料)韓国金融監督院

の運用通貨に韓国ウォンを含めていることを公表しているほか、ノルウェーは今年7月に1.5兆ウォンもの韓国国債購入後、その後も投資残高を積み増している。背景には運用資産6500億ドル超、世界の株式の1%を保有するとも言われる、ノルウェーの政府系ファンド(SWF)であるノルウェー政府年金基金がポートフォリオに韓国国債を組み入れた可能性がある。

韓国は8月末に米格付け会社によって「A1」から日本と並ぶ「Aa3」に1ノッチ格上げされ、韓国としては過去最高格付けとなったほか、9月には英格付け会社が「A+」から「AA-」に同じく1ノッチ引き上げ、こちらは初めて日本を上回る格付けとなった。その後、上述の米格付け会社とは別の米格付け会社も9月に格上げを発表しており、ユーロ圏諸国を中心に先進国の格下げが相次ぐ中で、韓国国債の魅力が高まっている。世界経済の先行き不透明感が根強い状況下、経済成長への懸念から株式への投資は不安定な動きが継続しそうだが、世界的な金利低下、先進国の格付け悪化といった市場環境の下、低くはない金利水準と相対的に高まる格付けを有する韓国国債への投資は今後も続くと予想され、韓国への資本フローを下支えしそうである。

以上

国際為替部

多田出 健太(TEL: 03-3242-7065) kenta.tadaide@mizuho-cb.co.jp

2012年11月8日